

仕事と子育てを両立しやすい職場作りに取り組み、長く働き続けることのできる環境作りを目指すため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 令和6年4月1日～令和12年3月31日までの5年間

2. 内容

目標1：平均継続勤務年数を男女ともに平均1年の勤続年数の向上を目指す。

<取り組み内容>

- ◇職員のストレスチェックを毎年実施する。
- ◇プライバシーに配慮した仕組みで実施する。
- ◇個別結果を本人に通知し産業医に相談しやすい環境を整える。
- ◇集団分析の内容を検証し、働きやすいまた働き甲斐のある職場環境を構築する。

目標2：妊娠、出産、育児及び介護等の事由により、女性職員が退職することなく、継続して就労できるようにする。また、育児休業、産前産後休暇が取得しやすい環境を維持する。(希望した場合の取得率100%の維持)

<取り組み内容>

- ◇出産・育児・介護休暇等で制度の改正がある都度、法人内各施設の管理職、事務担当者に対し制度を周知する。
- ◇出産・育児・介護休暇等に伴う退職がある場合は実態を把握する。
- ◇男性職員へ制度説明を積極的に行う。

3. 情報公開（令和5年度実績）

①採用した労働者に占める女性労働者の割合

全体 73.8%（正規職員 73.4% / 非正規職員 74.5%）

②平均継続勤務年数

正規職員 11.3年（男性 10.3年／女性 11.7年）

非正規職員 8.2年（男性 8.1年／女性 8.3年）

③管理職に占める女性労働者の割合

70.6%

④労働者の1カ月当たりの平均残業時間

正規職員 4.7時間 非正規職員 2.1時間

⑤女性の育児休業取得率（希望した場合）

100%